

山城しゅんいちを応援する会

しゅんいち通信

第4号

討議資料

2020年4月発行
 発行:山城しゅんいちを応援する会
 住所:坂城町上五明1248-2
 TEL/FAX 0268-82-3955
 E-mail
 yamashiro.shunichi@gmail.com

あなたとつくる みんなとつくる 未来の坂城



山城峻一
(やましる・しゅんいち)

〈プロフィール〉

- 1983年9月13日生まれ
- 長野日本大学高等学校卒業、日本大学法学部法律学科、放送大学教養学部教養学科心理と教育コース卒業
- 現在、上田市内の放課後児童クラブの指定管理者などをしているNPO法人ワークスコープ職員としても、活動中
- ホームヘルパー2級、児童厚生員2級、放課後児童支援員認定資格、認定心理士

写真左上「坂城のバラ(5月)」 写真右「鉄道フェ
写真左下「村上小運動会(6月)」スタ(10月)」



新年度予算可決 一般会計予算63億円

昨年発生した台風19号に伴う災害。発生から半年が過ぎ、鼠橋マレットゴルフ場や上五明運動公園などが復旧・復興し、着実に前進していく姿が見られます。

しかし、今年になり、国内においても新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、町内各所でも日々対応に追われているかと思えます。目に見えないウイルスとの戦い。この状況に対して、台風災害同様、無関係の人はいません。こういう時だからこそ、知恵を出し合い、助け合うことが必要と感じています。

坂城町議会議員 山城峻一の町政報告

3月議会は3月2日から3月19日まで開催されました。主な内容は、令和2年度の一般会計及び、特別会計予算、人権擁護委員、選挙管理委員及び補充員の人事案件、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正、また、ふるさと寄付金返礼品経費等に関する補正予算等を審議しました。また、医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書が出され、いずれも可決しました。

令和2年度の予算について常任委員会ごとに分かれ審議をし、各課に対し、不明な点を質問させて頂きました。決算の時もそうでしたが、限られた時間の中、的確に質問することはなかなか難しく、事業の内容についてより深い知識が必要と感じました。

なお、今議会では、昨年の台風19号関連の質問や新型コロナウイルスに関する質問など13名が一般質問をしました。

活動報告

◇3月定例会(一般質問)◇

～自然保育～

Q. 保育園の活動の中で、園外での活動の現状は?

A. 子ども支援室長: 坂城町の各保育園において、近くに自然が沢山あり、日々の園外活動で公園に行ったり、遠足で山登りや和平公園へのバスハイクをしたり等、自然の中を駆け回ることにより全身で自然を感じることが出来るような取り組みを行っている。

Q. 野外を中心とした体験活動を積極的に保育や幼児教育に取り入れる活動「自然保育」が全国でも推進されている。長野県においても独自に基準を定め、「信州やまほいく認定制度」を創設した。この制度を坂城町としても活用していくのはどうか?

A. 子ども支援室長: 「信州やまほいく認定制度」が始まり4年が経過し、本年3月時点で37市町村210園が認定されている。この制度には2つの区分「特化型」「普及型」があり、それぞれに基準が設けられている。坂城町において、県の推進する主旨に沿った自然保育は普段から取り組んでいる内容が多い。今後、信州やまほいく認定園の活動を参考に、自然保育について研究していく。

～新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校休校時の児童生徒への対応～

Q. 国からの要請に対し、どのように休校を決定したか?

A. 町長: 2月27日に内閣総理大臣から休校要請が発表され、翌28日に教育長と学校休校に伴う対応等協議。その後、小中学校長、総括児童館長、給食センター所長、事務局が集まり緊急対応検討会を開催した。会議の中で、児童生徒の気持ちを準備する時間が必要との意見が出され、3月2日から休校することとした。

Q. 春休みを含めた子ども達への対応は?

A. 教育長: 学習面においては、通常の春休み帳やプリントを配布し、一年間の復習を休校中に行うようにした。なお、休校中、学級担任が、電話や家庭訪問により生活状況の確認を行っている。特に中学3年生については、学習において不明点があれば個別に連絡を取り合い対応している。

Q. 休校中の児童館の受け入れ状況は?

A. 教育長: 3月3日より児童館の受け入れを行っているが、現在のところ大勢来館している状況ではない。

Q. 休校中の児童館の職員体制は?

A. 教育長: 児童館長もしくは支援員、補助員の他、小学校に配置している学校支援員の活用も考えている。

写真左「こどものひろま(8月)」
写真右「若者ひきこもり実践交流会(2月)」

しゅんいち通信(第4号)

◇研修報告◇

開催日:1月23日

場所:上田市 高砂殿

内容:「環境にやさしい農業と福祉の連携について」



上田地域の7市町村の議員が参加し、農業と福祉の連携について、長野大学准教授の合田盛人氏からお話を伺いました。

地方において農業は大事な産業であります。しかし、後継者不足や食料自給率の低下、耕作放棄地等課題が多いとされています。また福祉分野において障がい者の働く機会が求められています。

こういった課題の解決の1つに農福連携があります。障がい者が農業に関わることで、その方がそれまでのサービスを「提供される側」から「提供する側」へと変わることが出来ます。つまり、「出来ることの創出」へとつながります。農福連携はまた、農業従事者と障がい者の相互理解も期待されます。

この農福連携について、農業と福祉、異なる分野をそれぞれ理解し2つの分野をつなぐ人、コーディネーターの存在がとても重要と感じました。

少子高齢化がますます進む日本。農福連携が果たす役割は大きいのではないのでしょうか。

◇新型コロナウイルスに関する

相談窓口一覧◇

一般相談窓口

・長野保健福祉事務所

電話:026-225-9039(24時間対応)

・聴覚に障がいのある方をはじめ、電話での相談が難しい方に向けた個別の相談窓口

FAX:026-235-7170(平日8:30~17:15)

こころの健康に関する相談窓口

・長野県精神保健センター

電話:026-227-1810(8:30~17:15)

(土日祝日除く)

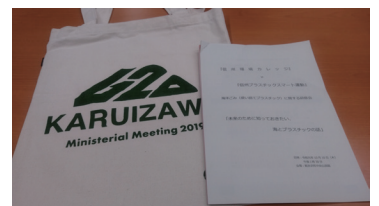
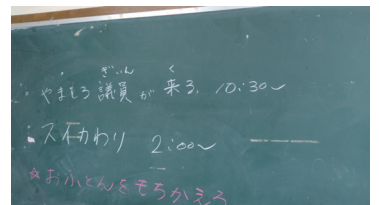
新型コロナウイルスに関する

町内事業所相談窓口

・坂城町役場商工農林課商工観光係

電話:0268-75-6207(担当課直通)

写真上「児童館にて(8月)」
写真下「海洋ごみ研修会(10月)」



写真左「大人からのあいさつ運動(11月)」
写真右「フードドライブ活動(2月)」

1月の活動履歴

- 1日 元旦マラソン※
- 4日 席書大会※
新春賀詞交歓会
- 8日 議会報編集特別委員会
- 10日 後援会報打ち合わせ(長野市)
2020年・新年の集い
- 11日 フードドライブ活動(上田市)
- 12日 月見区新年総会
上五明区新年総会
- 13日 左義長祭
- 14日 大人からのあいさつ運動
- 15日 議会報編集特別委員会
- 16日 令和元年度「第36回全国
青少年相談研究集会」(東京都)
- 17日 令和元年度「第36回全国
青少年相談研究集会」(東京都)
- 19日 令和2年坂城町出初め式
令和2年坂城町消防団第10
分団新年会
- 20日 議会報編集特別委員会
- 22日 町議会臨時会
長野県地方自治体政策課
題研修会(長野市)
- 23日 議会全員協議会
上田地域市町村議会議員
研修会(上田市)
- 24日 坂城中学校模擬議会
(※印 広報活動のため)

2月の活動履歴

- 1日 フードドライブ活動(上田市)
長野広域連合による新ごみ
焼却施設整備の町民説明会
- 3日 後援会報打ち合わせ(長野市)
- 4日 議会全員協議会
議員研修会
- 5日 六ヶ郷用水組合議会定例会
- 6日 社会文教常任委員会視察研修
- 11日 小児慢性特定疾病自立
フォーラム(海老名市)
- 13日 大人からのあいさつ運動
- 15日 第15回全国若者・ひきこもり
実践交流集会(宇都宮市)
- 16日 第15回全国若者・ひきこもり
実践交流集会(宇都宮市)
- 17日 下河原地籍農地再生会議
- 19日 子ども食堂・農福連携に
関する視察(東京都)
- 20日 議会全員協議会
- 21日 こどものひろま in 夢の湯
- 25日 坂城幼稚園視察

3月の活動履歴

- 2日 町議会定例会開会
議会報編集特別委員会
- 3日 上田市議会傍聴(上田市)
坂城男女共同みんなの会
運営委員会
- 9日 一般質問(4回目)
- 10日 一般質問
- 11日 一般質問
- 12日 議会全員協議会
社会文教常任委員会
- 13日 社会文教常任委員会
- 18日 議会報編集特別委員会
- 19日 町議会定例会閉会
- 23日 不法投棄現場調査
- 24日 村上保育園卒園式
- 26日 議会報編集特別委員会
- 27日 こどもソーシャルワーク
勉強会(御代田町)
- 28日 後援会報打ち合わせ(長野市)

〈1年を振り返って〉夏は「猛暑」を超え「酷暑」と言える状況が続くことは珍しくなく、この冬は雪がほとんど積もりませんでした。そして昨年台風。異常とも言える環境です。白馬村や千曲市、そして長野県としても「気候非常事態宣言」を出しています。また新型コロナウイルスの感染拡大。自然環境においても、また人間社会においても「変化の時期」なのではと思わされます。その時期に議員という立場で何が出来るか、何をしなければいけないのか、再度考えなくてはと思っています。

台風災害復旧
工事(3月)



●友人から一言● 2011年、山城峻一さんと私は阿部守一長野県知事とのランチミーティングに参加し、若者、子どもの課題について意見交換をしました。その後、山城さんはNPO法人子どもサポート上田の活動の一環として、引きこもり経験者、当事者による青年の会を立ち上げ、私もメンバーとして数年間一緒に活動しました。坂城町議会議員として、子ども、若者の課題について一貫して行動、発信を続けています。これからも応援させていただきます。
(友人 社会福祉士 伴野 慶さんより)

◆特急あさま◆ 新型コロナウイルスなど最近では暗いニュースが多いですが、そんな中しなの鉄道に新型車両「SR1系」が登場したという明るい話題が。今は自粛等厳しい時期かもしれませんが、暗いトンネルには必ず出口があると言うとおり、大変な時期だからこそ前向きに頑張りたいですね。
(大学の友人 倉地 大より)